

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2016-538000(P2016-538000A)

【公表日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-554814(P2016-554814)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/415 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2018.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/415

A 0 1 H 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ホメオボックス - ロイシンジッパー H A T 2 2 タンパク質をコードし、かつ植物シマツナソまたはコウマ由来の単離されたポリヌクレオチドであって、配列番号 2 または 5 に記載の前記ヌクレオチド配列と少なくとも 95 % の配列同一性を有するヌクレオチド配列またはその相補体を含む核酸分子を含む、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 2】

前記植物シマツナソが、品種 O - 4 である、請求項 1 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 3】

前記植物コウマが、品種 C V L - 1 である、請求項 1 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 4】

配列番号 3 または 6 に記載のアミノ酸配列と少なくとも 95 % の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む単離されたホメオボックス - ロイシンジッパー H A T 2 2 ポリペプチドであって、前記ポリペプチドが、開始の触媒、形成の触媒、改善の触媒、増強の触媒、および変形の触媒からなる群から選択される 1 つ以上の機能を含むホメオボックス - ロイシンジッパー H A T 2 2 活性を有し、それにより、前記植物シマツナソまたはコウマにおける繊維長、草丈、バイオマス、またはこれらの任意の組み合わせを改変する、ポリペプチド。

【請求項 5】

前記植物シマツナソが、品種 O - 4 である、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 6】

前記植物コウマが、品種 C V L - 1 である、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 7】

請求項 1、2、3、11、12 および 13 のいずれか 1 項に記載の単離されたポリヌクレオチドを含む組換え遺伝子構築物であって、

前記ポリヌクレオチドが、宿主細胞において発現されて、前記植物シマツナソおよびコウマにおけるホメオボックス - ロイシンジッパー H A T 2 2 ポリペプチドの相同体を産生することができる、組換え遺伝子構築物。

【請求項 8】

請求項 1、2、3、11、12 および 13 のいずれか 1 項に記載の単離されたポリヌクレオチドに作動可能に連結されるプロモーター領域をさらに含み、前記プロモーターが、前記ポリヌクレオチドの転写または発現を増強する、請求項 7 に記載の組換え遺伝子構築物。

【請求項 9】

ポリヌクレオチドを発現することができる請求項 4 に記載の組換え遺伝子構築物を含む形質転換体であって、

前記形質転換体が、ホメオボックス - ロイシンジッパー H A T 2 2 ポリペプチドの相同体を産生する、形質転換体。

【請求項 10】

対照植物と比較して、繊維収量、繊維長、または草丈が増加または増強したトランスジェニック植物を産生する方法であって、

a) 植物細胞に請求項 7 に記載の組換え遺伝子構築物を導入するステップと、

b) 配列番号 3 または配列番号 6 に記載の前記アミノ酸配列と少なくとも 95 % の配列同一性を有するポリペプチドを発現するステップと、

c) 植物成長および発育を促進するための条件下で前記植物細胞を栽培するステップと、を含む、方法。

【請求項 11】

前記核酸分子が前記ヌクレオチド配列と少なくとも 98 % の配列同一性を有する、請求項 1 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 12】

前記核酸分子が前記ヌクレオチド配列と少なくとも 99 % の配列同一性を有する、請求項 1 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 13】

前記核酸分子が前記ヌクレオチド配列と 100 % の配列同一性を有する、請求項 1 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 14】

前記ポリペプチドが前記アミノ酸配列と少なくとも 98 % の配列同一性を有する、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 15】

前記ポリペプチドが前記アミノ酸配列と少なくとも 99 % の配列同一性を有する、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 16】

前記ポリペプチドが前記アミノ酸配列と 100 % の配列同一性を有する、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 17】

前記ポリペプチドが前記アミノ酸配列と少なくとも 98 % の配列同一性を有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 18】

前記ポリペプチドが前記アミノ酸配列と少なくとも 99 % の配列同一性を有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ポリペプチドが前記アミノ酸配列と 100 % の配列同一性を有する、請求項 10 に

記載の方法。